

第 20 回

西宮市子ども・子育て会議

【資料集】

目次

資料1	ロードマップ・前回の審議等まとめ・今回の審議事項	・・・1
資料2	民間保育所、私立幼稚園に対する認定こども園への 移行に関する意向調査の結果報告	・・・5
資料3	西宮市の将来人口推計	・・・6
参考資料1	小学校区別 放課後の子供の居場所等	・・・25
参考資料2	児童通所支援の事業者数及び支給決定者数の推移	・・・27
参考資料3	乳幼児健康診査 未受診後フォロー体制	・・・28

ロードマップ・前回の審議等まとめ・今回の審議事項

ロードマップ

	平成 29 年度						
	第 18 回 4.24	第 19 回 5.30	第 20 回 7.18	第 21 回 H29.8	第 22 回 H29.10	第 23 回 H29.11 (予備日)	第 24 回 H30.2
西宮市子ども・子育て支援事業計画（事業計画）と 西宮市次世代育成支援行動計画（次世代計画）の一体化							
計画の構成	●						
記載事項の決定	○	○	○	○	●		
第 1 編 計画の策定にあたって							
第 2 編 子ども・子育てを取り巻く本市の現状		○	○	○	●		
第 3 編 計画の基本的な考え方	○	○	○	○	●		
第 4 編 計画の施策内容 施策体系・重点施策・施策の展開	○	○	○	○	●		
第 5 編 計画の推進にあたって				○	●		
第 6 編 資料集			○	○	●		
計画全体の審議				○	○※		●
西宮市子ども・子育て支援事業計画の評価							●

○＝審議、●＝審議終了（確定）

※平成 29 年 10 月（予備日 11 月）に素案を確定させ、平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月（予定）に
パブリックコメントを実施

第19回西宮市子ども・子育て会議 審議等まとめ

議事(1)(仮)西宮市子ども・子育て支援事業計画 西宮市次世代育成支援行動計画【骨子案】

事務局から、新プランの骨子案について、「第2編子ども・子育てを取り巻く本市の現状」及び「第4編計画の施策内容 重点施策」の説明を受けたところ、次の意見、質問が出された。

【第2編子ども・子育てを取り巻く本市の現状】

- ・人口の動向について、地域ごとの傾向が分かる資料が必要と考える。→6ページ参照
- ・就学前児童の人口の推移など、南部と北部に分けて考えたほうがよい。

【第4編計画の施策内容 重点施策】

1. 教育・保育の充実

- ・待機児童対策が重要視されるが、西宮はまだ幼稚園ニーズも高い。
- ・「質の高い教育・保育の提供」について、考えるべきである。
西宮市として、教育・保育の質を担保する基準があると良い。
- ・「認定こども園」についても、言及するべきである。
- ・幼稚園の課題としては、預かり保育や特別支援教育にある。
また4・5歳の在家庭の子をどのように受け入れていくかについて考えていかなければならない。
- ・幼稚園では受け入れていない2歳児以下の待機と、地域型保育事業を卒園後の行き先がない3歳児以上の待機が課題になっているが、年齢別で解決策が違ってくることを示す必要がある。
- ・幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育など多様な選択肢があることについて、周知できると良い。認定こども園の位置づけが曖昧になっている。
- ・国の幼児教育のあり方が示されていることから、西宮市としても就学前の子供の「生きる力」をどこで主体的に実践していくか明記することが、「質」について論じることになるのではないか。

2. 放課後の子供の居場所の充実

- ・アンケートの結果、小学生の放課後の過ごし方について、理想では「公園」が最も多い。これは近くに児童館や放課後子供教室がなく、公園を選ぶしかなかった人も含まれている可能性がある。
- ・地域ごとの放課後子供教室や児童館の有無・箇所数の状況が分かる資料があると良い。
→25ページ参照
- ・市として放課後子供教室を充実させ、放課後児童クラブとの一本化を進めるのか、それとも放課後児童クラブで保育を必要としない子も受け入れ一本化とするのか、方向性を示すべきである。

3. 障害のある子供への支援の充実

- ・特別な支援が必要な子供の受入実績は、人数だけではなく、どのような割合で受け入れられているか実態をはっきりしたほうがよい。幼稚園の受入が少ない背景には、補助金などの問題がある。
- ・私立幼稚園で受入実績に含まれない補助対象外の子もたくさん受け入れている
- ・こども未来センター、家庭、学校園に加え、地域のカも必要であることを検討してほしい。
- ・関係機関である児童発達支援事業や放課後等デイサービスがどのように増え、連携をとっていくか

資料に示せるとよい。→27 ページ参照

4. 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援

- 地域で、子供の変化に気付くことができるチェック体制が必要である。
- 健診未受診者に対するフォローを検討したほうがよい。 →28 ページ参照
- 健診の受診率が下がる要因は、子育てへの興味の低下ではなく、働いている方が健診に行きにくいからである。

5. 地域の子育て支援の充実

- 今後、子育てコンシェルジュが増えていくのであれば、コンシェルジュ同士が連携をとり、各地域の子育て支援団体等とつながる仕組みになってほしい。
現在、地域子育て支援拠点連絡協議会はあるものの、実質的に連携はできていない。

7. ワーク・ライフ・バランスの推進

- 企業では積極的だが、市が率先して実践していかなければならない。
- 母親は父親に育児をしてほしいとは、さほど思っていないのではないか。それよりも何の予防接種を受けたか、体重がどのくらいかなどを把握し、育児を理解することが大事である。
- 男性の育児休業の取得がなかなか進んでいない。短い期間でも男性が育児休業を取得し、夫婦二人で一緒に育てる経験が大切である。長期でなく、短期でも取得できることを周知してほしい。

第 20 回西宮市子ども・子育て会議 審議等事項

報告（１）民間保育所、私立幼稚園に対する認定こども園への移行に関する意向調査の結果報告

次年度の入園・入所に向けた準備、予算編成のため、各私立園に対し、認定こども園への移行の意向調査を実施しており、その結果について事務局からの報告を受ける。

報告（２）西宮市の将来人口推計

政策局が作成した西宮市における平成 52 年度までの地区別人口推計の結果について報告を受ける。

議事（１）（仮）西宮市子ども・子育て支援事業計画 西宮市次世代育成支援行動計画【骨子案】

計画全体の構成及び「第４編計画の施策内容 重点施策」について、説明を受けた後、質疑応答を行う。

報告（1）民間保育所、私立幼稚園に対する認定こども園への移行に関する

意向調査の結果報告

1. 調査の実施内容

平成 30 年 4 月入所・入園に向けた準備、予算案の策定等に資するため、民間保育所、私立幼稚園の認定こども園への移行の見込み等を把握する意向調査を実施。

【調査対象・調査時期】

- ①民間保育所 32 園（分園除く） 平成 29 年 4 月 17 日～28 日
 ②私立幼稚園 38 園 平成 29 年 6 月 12 日～23 日
 ※認定こども園に移行した園は調査対象から除く

2. 調査結果

1) 認定こども園への移行の意向

	民間保育所		私立幼稚園	
	前回 (H28)	今回 (H29)	前回 (H28)	今回 (H29)
①認定こども園に移行する予定（検討中）である	19 園 (54.3%)	15 園 (42.9%)	4 園 (10.5%)	3 園 (7.9%)
② // 予定はない	10 園 (28.6%)	8 園 (25.0%)	7 園 (18.4%)	14 園 (36.8%)
③未 定	6 園 (17.1%)	9 園 (28.1%)	26 園 (68.5%)	21 園 (55.3%)
④新制度の幼稚園に移行する予定（検討中）である	—	—	0 園 (0.0%)	0 園 (0.0%)
⑤新制度の幼稚園もしくは認定こども園に移行する予定（検討中）である	—	—	1 園 (2.6%)	0 園 (0.0%)
計	35 園	32 園	38 園	38 園

2) 「①認定こども園に移行する予定（検討中）である」と回答した園の移行予定時期

	民間保育所	私立幼稚園
平成 30 年度から	6 園	2 園
平成 31 年度もしくは 32 年度	5 園	0 園
時期未定	4 園	1 園